

なるほど

健康講座

ひきこもりと精神疾患の関係性

ひきこもりとは

ひきこもりとは、①趣味や用事の時だけ外出する、②近所のコンビニなどには出かける、③自室から出るが家から出ない、④自室からほとんど出ないといった行動パターンが6カ月以上続いている人を指します（身体的病気、妊娠、介護・看護、仕事などを除く）。

ひきこもりは100万人以上

ひきこもりは100万人以上と推計され、現在は40代以上が多いといわれます。平成31年3月以内に閣府が公表した調査結果によると、40歳～64歳の中高年世代のひきこもりは約61万3000人。私は平成17・18年に厚生労働省のひきこもりの研究に加わりました。当時の研究は、思春期・青年期が対象でしたが、約20年が経ち、私たちが調査した青年たちは40～50代に

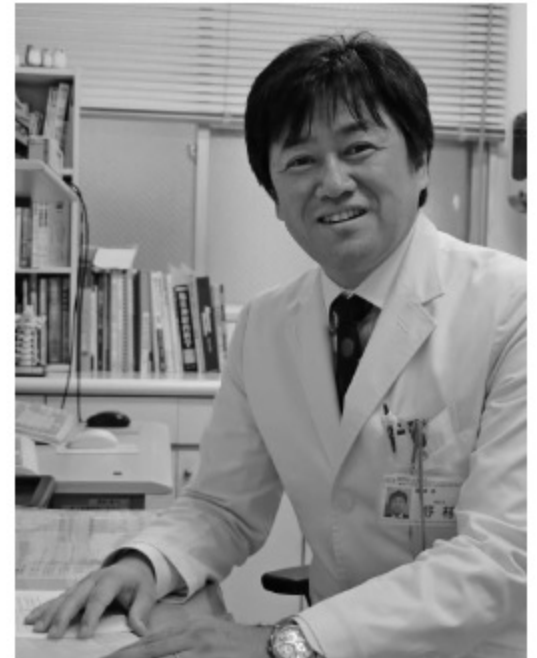
なっています。そのなかでも、親が80代、子どもが一般就労できないまま50代になって生活が困窮してしまいう8050問題に直面する家庭が増えています。

精神疾患との関係

ひきこもりと精神疾患は密に関係しています。精神疾患を発症している、その結果ひきこもりになることがあります。例えば統合失調症で、妄想に伴い外出が怖くてできない。重度の強迫性障害で不潔恐怖や確認行為が大変で外出できない。重度の不安障害で「～になったらどうしよう」と考えすぎて外出できないなどです。また、生まれつきの性質として発達障害、回避性パーソナリティ障害などがあり、幼児期からの傷つき体験や苦手感などで対人交流や社会参加をしたくなくなり、何かに没頭し、ひきこもりになることがみら

問い合わせ

健康推進課 ☎@1610



廿日市野村病院

のむら ようへい
野村 陽平 先生

気になったら、まずは相談を

- ・ 広島県立総合精神保健福祉センター
- ・ 市福祉保健部の各窓口
- ・ NPO法人青少年交流・自立・支援センターCROSS
- ・ 特定NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会
- ・ ハルモニ@ホーム（広島版ひきこもり支援情報ポータルサイト）
- ・ わくサポ廿日市

れます。そして、発達障害は生物学的・二次的に精神疾患をあわせ持つことが多く、より状態が複雑化することがみられます。そのため、状態がこじれて完全に人を避ける前に、幼児期や学童期など早い段階からの親子支援やいろいろな選択肢が必要ですが、まだまだ支援手段は不足しています。